ヲ組織スルコトヲ得

第廿七条 前条ノ目的ヲ達スル為メ近接地方聯合會ハ合盟會ヲ組織スルコトヲ得但シ聯合會ハ會員五百名以上ヲ以テ組織スルコトヲ要ス

第廿八条 聯合會ノ組織ニハ會長ノ承認ヲ要シ合盟會ノ組織ニハ中央委員會ノ承認ヲ必要トス

第九章 會計

第廿九条 本合盟ノ経費ハ本合盟ノ加盟各団体ニ於テ負担シ本合盟ノ會計之ヲ管理ス

第卅条 本合盟ノ収入支出ハ予算ヲ以テ年ノ年大會ノ承認ヲ経ルヲ要シ決算ハ大會ノ審査ヲ受ケタル上直ケニ之ヲ公表スベシ

第卅一条 本合盟會計年度ハ八月一日ヨリ翌年七月三十一日ヲ以テス

第十章 補則

第卅二条 本則ハ大正八年九月三日之ヲ施行シ大正十年十月三日之ヲ修正ス本則ハ大會ノ決議ヲ経ルニアラサレハ之レヲ変更スルコトヲ得ス 但シ會長ハ緊急ノ必要アリト認ムルトキハ中央委員會ノ承認ヲ得テ之ヲ適宜ニ処置スルコトヲ得

行動

一、組織ノ系譜　我會長鈴木文治ハ法學ヲ修メ衆的ノ造詣高野岩三郎博士ノ陶化ヲ受ケ帝国大学在学中ヨリ意ヲ社會問題ノ研究ニ傾ケ下層民ノ生活状態等ニ関シ造詣浅カラズシテ卒業後ハ何等カノ社會運動ヲ試ミントスル志望ヲ有シタリシガ明治四十三年知己ナル米國人「マツコレー」ノ主宰スル「ユニテリアン」教會ニ入リテ幹事トナリ其役後ニ依リテ年来ノ志望ヲ達セントセリ「マツコレー」ハ米國「ユニテリアン」教會カ基督教傳道ノ目的ヲ以テ日本支部主任トシテ派遣シタル宣教師ニシテ日露戦役当時来東ニ於ケル帝国ノ債害等ニ反ヲカセシ功ニ依リ勲四等ニ叙セラレタル位アリシ有シ其後多的立場ヨリ貧民問題ノ救済ニ屋策シ居リシガ時ヲナシ鈴木ト相識ルニ至ルモニシテ鈴木ノ教會ニ入ルヤ相共ニ謀リ毎月一回教會内ニ通俗講演會ヲ開キ労働者ノ智識ノ開発ニ資スルト共ニ組合組織ノ必要ヲ宣伝シテ他日ノ準備ヲナシ一面右學者専門家ヲ訪ヒテ其援助ヲ求メ着々企画ノ歩ヲ進メツヽアリシガ偶明治四十五年七月 明治大帝崩御ノ事アリテ式止ノ一新紀元ヲ際会セルヲ動機トシテ本會ヲ設立シ大正元年八月一日ヲ以テ発会式ヲ挙ケ主義綱領ヲ発表セリ 然シ其当時ノ会員僅ニ十五名ニ過キザリキ

二、発展ノ経路　創立当時ニ於ケル趣旨ハ頗ル穏健ニシテ専ラ基督教主義ノ博愛慈善ヲ本トシ労働者ノ識見ノ向上徳性ノ涵養技術ノ進歩ヲ図ルヲ主眼トシ着実ナル方法ニ依リ労資両階級間ヲ調和シ以テ国家産業ノ発展ヲ期セントシ如上ノ主義ノ下ニ全国各工業地ニ支部分會ヲ設ケ盛ンニ講演會ヲ開催シテ会勢ノ拡張ヲ計レリ 其当時我国ニ於テハ英米ノ慣習ニ依ル業務別ノ団体存セサルニアラサリシモ之レ時ノ企業者ノ融和親睦ヲ目的トセル部分的組合ニ過キスシテ何等ノ行動ノ見ルベキモナカリシカバ本會ノ此挙ハ労働階級ノ人気ニ投シ入会者相踵リ盛況ヲ呈シ創設当時僅カニ十五名ナリシ会員モ年ヲ逐テ左表ノ如キ累進数ヲ示セリ

一、創立当時　一五人